

蛇口の向こうにある、 安来の水道

普段、当たり前に使っている水道水。

その水がどこから来て、

どうやって家庭まで届いているのか、知っていますか。

☎ 水道管理課 ☎ 23-2020



安来市の水道の特徴

安来市の水道は、 地域ごとの水源に支えられています

安来市の水道は、島根県企業局から受ける水を中心に、市内各地の水源も使いながら成り立っています。地域ごとの水源から、配水池やポンプ施設、配水管を通して、各家庭や事業所へ水を届けています。

島根県企業局の水

飯梨川水系の水を、布部ダム・山佐ダムで支え、今津浄水場で浄水処理を行っています。

島根県企業局から受ける水は、給水量の約7割を占めています。

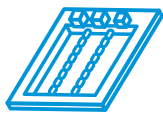


▲山佐ダム (広島県山佐町)



数字でみる安来市の水道 (令和6年度時点)

1年間に届けた水
約 **410** 万³m



25mプール
約 **1.1** 万杯分



浄水施設
14 か所



配水池
50 か所



ポンプ施設
56 か所



配水管
約 **610** km



水道水は、こうして届きます

安来市の水道水は、川や地下水などの水源から取り入れられ、浄水処理をしてから、配水池や配水管を通じて私たちの暮らしへと届きます。皆さんが24時間365日、いつでも安心して水を使えるよう、日々の点検や管理を行いながら安全な水をお届けしています。

1 水源

水道水のもととなるのは、飯梨川をはじめとする河川の水や、市内各地の地下水などです。地域によって水源や水の性質は異なります。



▲飯梨川中流の様子

2 浄水・処理

水源の水質に応じて、ろ過や消毒を行います。それぞれの水に合わせた方法で、安全な水道水にします。



▲原代浄水場 (伯太町東母里)

3 送る・ためる

処理した水は、ポンプ施設を使って、高い場所にある配水池へ送ります。配水池では、使う量の変化に対応できるように水をためています。



▲社日配水池 (安来町)

4 届ける

配水池からは、高低差を利用して各地域へ水を届けます。水圧が低い場所などでは、必要に応じてポンプ施設も使います。



▲水を送るポンプ設備

5 蛇口へ

配水管を通った水は、家庭や学校、事業所などの蛇口へ届きます。いつも使っている水は、多くの施設と日々の管理によって支えられています。



▲蛇口へ届いた水

水質の安全を確認しています

蛇口から安心して水を使えるよう、日々のチェックと専門機関による詳しい検査を行っています。



日常の確認

毎日、各地域の蛇口で水の色や濁り、消毒の効果を確認しています。



詳しい検査

水源の水や浄水場で処理した後の水は、専門の検査機関で定期的に検査し、水道水としての基準を満たしているか確認しています。



◀消毒の効果などを確認しています。

水道の耐震化を進めています

水道は、災害時にも暮らしを支える大切なライフラインです。安来市では、古くなった水道管や施設の更新にあわせ、管路や施設の耐震化を進めています。配水池や避難所につながる管路など、重要度の高いところから計画的に取り組んでいます。



◀配水管工事の様子

空き家などの漏水に注意!

空き家や長期間使っていない住宅では、漏水に気づきにくいことがあります。定期的に水道メーターを確認し、長期間使用しない場合は、必要に応じて止水栓を止めるなどの対策をお願いします。

水道料金は納期限内に

安定した水道経営のため、事務の見直しや経費削減に取り組んでいます。再請求などにかかる費用を抑えるため、期限内納付や便利な口座振替の利用にご協力ください。